

## 学校歯科健診について

4月から5月いっぱい保育所と各小・中学校の歯科健診を実施しました。

6月4日は語呂合わせで、むし歯予防の日でもあり、6月4日から10日にかけては「歯と口の健康週間」に指定され、歯や口に関心が集まる時期でもあります。

さて、歯科健診を受けると後日、結果のお知らせが配布されますが、今回はこの見かたについて説明します。



健診後の歯型取りの様子

従来は、治療勧告書として治療と精密検査を必要とする方にのみ示され、健全な者やC・O・G Oのみの方には示されませんでした。現在では全員に通知するようになりました。結果は次の3段階で示されます。

### 【異常なし】

これからも食生活や口腔清掃に気をつけて健康な状態にたもちましょう。

### 【経過観察】

歯磨き・食生活に十分注意し、まずはかかりつけ歯科医による継続的な指導・管理を受けることをおすすめします。

ここで見慣れない用語が出てきますので説明しましょう。

#### C O（シーオー、要観察歯）

明らかなむし歯は確認できませんが、むし歯の初期の状態が疑われる白濁（白く濁った色）や褐色（やや黒みを帯びた茶色）になっている部分が認められ、このままではむし歯に進行するおそれのある歯です。これは初期虫歯とも呼ばれ、適切な口腔ケアや生活習慣の改善により、もとの健康な歯に戻る可能性があります。

#### G O（ジーオー、歯周疾患要観察歯）

歯茎に軽度の歯肉炎が起きていますが、歯石は付いていない状態です。これも適切な口腔ケアや生活習慣の改善により健康な歯茎に戻ります。

### 【受診のおすすめ】

早めに歯科医院で精密検査、治療を受けましょう。

以前の歯科健診ではむし歯の状態をC 1、C 2、C 3、C 4のように表しましたが、現在ではCのみです。

また、学校における健診はスクリーニング（ふるい分け）であり、医療機関で受ける検査とは異なります。問題のある・なしにかかわらず、かかりつけ歯科医による継続的な指導・管理を受けることをおすすめします。